

世界の女性歯科医師

日本歯科医師会常務理事 小山 茂幸

昨年9月に開催されたFDI サンフランシスコ大会で交流のあった7か国の女性歯科医師に、自国の女性歯科医師の活動と役割について寄稿いただきました。

筆者は過去にFDI 監査委員会委員を務め、これまで3回のFDI 世界歯科大会に参加し、たくさんの国の代表者と交流する機会を得ました。

本企画は、昨年の大会でフランス歯科医師会とのミーティングの際に、自国の取り組みを双方の歯科雑誌で紹介できないかという話があり、FDIには多くの女性歯科医師が参加していることから、まずは各国で活躍する女性歯科医師に自国の女性歯科医師事情についてレポートしてもらうことを考え、大会期間中に執筆交渉を行い、実現しました。

今後も各国の歯科医師会の事情などをタイムリーに伝えていきたいという意欲を込め、今回「世界の女性歯科医師」を紹介します。

* * *

■アメリカ合衆国での歯科における女性の増加

米国歯科医師会 Dr. Carol Gomez Summerhays

最初的女性歯科医師である Dr. Lucy Hobbs Taylor は、歯学部への入学を二度拒否された後、オハイオ歯科大学 (Ohio College of Dentistry) を1866年に卒業しました。2018年までに米国の歯学部における初年度の女性入学者は50.5%になりました。同じ年、全米の歯科卒業生の49.7%は女性でした。



米国の歯科専門職では急速に女性が増えています。私が歯学部を卒業した1978年には、開業している歯科医師のうち女性歯科医師は3%未満でした。2019年までに、米国の開業歯科医師の1/3以上が女性になりました。歯学部を卒業する女性が増え続けること

で、女性歯科医師は間もなく大多数を占めることになるでしょう。

非常に多くの現役歯科医師は一般診療に携わっています。79%が一般歯科医であり、21%が専門医です。2018～2019年の歯学部卒業生による、米国歯科医師会 (ADA) が認定した女性歯科医師のための専門教育プログラムへの登録は以下の通りです。

• 歯科公衆衛生	67.7%
• 小児歯科	67.1%
• 口腔顎顔面病理	58.9%
• 口腔顎顔面放射線	52.7%
• 歯科矯正・顎口腔矯正	51.1%
• 補綴	46.4%
• 歯周病	44.0%
• 歯科麻酔	41.8%
• 歯内療法	35.8%
• 口腔顎顔面外科	16.2%

Dr. Jean Sinkford は、1975年に米国の歯学部で初の女性の学部長になりました。現在、68人いる米国の学部長のうち、13人 (19%) が女性であり、増加が予想されています。歯学部はさらに女性が増加する傾向にあります。2017～2018年の学年では、女性教員は36.8%で、すべての年齢区分で増加していました。30歳未満の女性教員は65%で最も高く、30～39歳の年齢層では56%でした。

女性歯科医師は軍のすべての部門で勤務しています。海軍29%、空軍31.4%、陸軍26%の割合です。陸軍を除く各軍で女性は最高位に就いています。

Carol I Turner 少将は、2003年に海軍歯科隊で初の女性の主任になりました。現在、海軍歯科隊の最高位の将校は Gayle D. Schaffer 少将です。Sharon R. Bannister 准将は空軍歯科隊の最高位の将校です。

一方、ほとんどの女性歯科医師は一般歯科診療に携わっています。そして男女差があります。女性歯科医師は勤務歯科医となる傾向が強く (11.9%)、自身の診療所を所有する割合は低くなっています。一般に、

女性歯科医師は男性歯科医師より勤務時間が3時間短く、収入は30%以上少なくなっています。

私たちの職業では、指導的立場に就く女性の数は遅々として増えていません。ADAの160年の歴史の中で、女性の会長は4人しかいません。1991年にDr. Geraldine Morrowが初の会長になりました。2001年にDr. Marjorie Jeffcoatが初の女性の米国歯科医師会雑誌編集者になり、2009年にDr. Kathleen O'Loughlinが初の女性のADA専務理事になりました。

女性歯科医師は私たちの職業全体で大きな進歩を遂げましたが、さらなる進歩が必要です。男女の所得格差を理解し、埋める必要があります。職業の人口統計の変化に合わせて、リーダーシップ、また各国歯科医師会の女性会員喪失リスクに変化を反映させることが重要です。これらすべてに、意識、教育、目的、そして絶え間ない努力が必要です。

参考文献

- 1) Health Policy Institute (HPI), American Dental Association (ADA) : Supply of Dentists in the U.S., Feb 2020.
- 2) AAPD Pediatric Oral Health Research and Policy Center : Trends in Pediatric Dentistry 2014. June 2014.
- 3) OHWRC (Oral Health Workforce Research Center) : A National Study of the Practice Characteristics of Women in Dentistry and Potential Impacts of Access to Care for Underserved Communities, June 2019.
- 4) HPI, ADA : The Dentist Workforce-Key Facts, 2015.
- 5) HPI, ADA : Dental School Grads and Advanced Program Enrollment by Gender, 2018-19.
- 6) Le TAN, Sasso ATL, Vujicic M : Trends in the earnings gender gap among dentists, physicians, and lawyers, JADA, 148(4) : 257 ~ 262, 2017.
- 7) HPI, ADA : The Gender Pay Gap for Women in Medicine, Law, and Dentistry. (Webinar), Mar 2017.
- 8) Women Deans in U.S. Dental Schools, Dr. Karen West, President American Dental Education Association (ADEA)
- 9) American Dental Education Association (ADEA) : Percentage of Women on Dental School Faculties Continues to Rise. Survey of Dental School Faculty, 2017-18.
- 10) ADEA : The Dental Student Population Includes More Women and Is More Diverse Over Time. Dental School Applicants and Enrollees, 2013 and 2018 Entering Classes.

Dr. Carol Gomez Summerhays

Dr. Carol Gomez Summerhays is a Past President of the American Dental Association and the California Dental Association, the largest state dental association in the U.S.. Currently, she serves as a Councilor for the FDI World Federation of Dentists and Chair of the Board of Councilors for the Ostrow School of Dentistry at the University of Southern California.

After earning her B.S. in Biology from the University of San Francisco she attended the Ostrow School of Dentistry at the University of Southern California on a full scholarship through the Armed Forces Health Professions Program where she earned her Doctorate of Dental Surgery.

Following graduation from USC, Dr. Summerhays served 4 years of active duty as a dental officer in the U.S. Navy followed by full time private practice for 32 years in San Diego, CA.

* *

■平等は未来への道

イタリア歯科医師会 Dr. Angela Rovera

イタリア、そして世界中で、ジェンダーの平等は「女性と男性のそれぞれのニーズに応じた処遇の公平性」を指すと認識されています。平等であるということは、必ずしも女性と男性が同じになる必要があるわけではありませんが、その権利、責任、機会は性別によって決まることはありません（国際労働事務所、2000年）。平等が最終目標である場合、公平はそこに到達する手段です。

イタリアの歯科医師としての経験に基づいて、私はジェンダー間での平等は新しい世代の専門家にも存在



すると考えています。歯科医療に対する女性のコミットメントは、矯正歯科や小児歯科などの「伝統的に女性」とされている専門分野だけでなく、外科領域の専門分野にも及んでいます。さらに付け加えると、イタリアでは経済面での待遇にジェンダーの差はありません。しかしながら、特に大学や歯科医師会の指導的地位に占める割合にはジェンダー間の不平等が見られ、その傾向は開業医院においても同様です。指導的役割の女性が遭遇する主な問題は、家庭と仕事の両立の難しさによって起こります。女性に向いている職業では、これらの問題にもっと注意を払う必要があります。これらの不平等は世代交代とともに減少傾向であると考えます。

イタリアでは歯科で働く女性の数が着実に増加しています。Italian Dental Council 2020の最新の数字で

は、女性歯科医師は17,198人、男性歯科医師は45,700人で、女性歯科医師が全体の27%を占めています。しかし、40歳未満の若い年齢層を見ると、男性とほぼ同数の女性歯科医師がいます。女性の増加は、特に若い年齢層で、医科・歯科の職業における大きな変化の一つです。25～29歳の年齢層では男性歯科医師は1,709人、女性歯科医師は1,578人です。反対に、55～59歳では男性歯科医師は3,381人、女性歯科医師は1,207人です（図）。この歯科医師の就業人口（年齢層別）の変化は、労働形態、診療モデル、そして指導的役割に関する問題を提起しています。

平等は未来への道であり、イタリア歯科医師会（ANDI）はその道を先導しています。ANDIは男女平等を推進するために多大な努力をしています。イタリアの歯科医師は「女性への暴力反対」プログラムの支援者です。なぜなら、医療提供者が被害者を特定するのにオーラルバイオマーカーが役立つ可能性がある

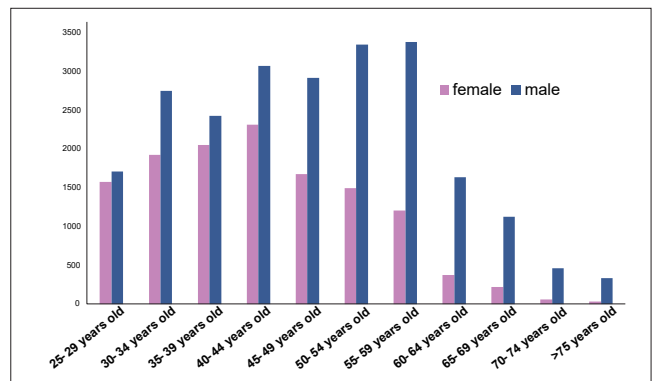


図 イタリアにおける歯科医師数（性別・年齢別）

からです。特に、歯科医師向けのトレーニングコースがあり、歯科医院では女性への暴力に関するリフレットの提供を行っています。

このポジティブなメッセージが日本のすべての同業者の皆さまに届き、平等の権利を維持し、機会均等に寄与できることを願っています。

Dr. Angela Rovera

EDUCATION AND TRAINING:

2008 - 2012 Bachelor of Dental Surgery (BDS), Dental School, University of Turin, Italy

2013 - 2014 Master of Science in Implant-Prosthetic Dentistry (MSc), Dental School, University of Turin, Italy

2016 - 2020 Doctor of Philosophy (PhD), Dental Physical Sciences Unit, Institute of Dentistry, Queen Mary University of London, UK

2018 - 2020 Fellow of Higher Education Academy (FHEA), UK

WORK EXPERIENCE:

2012 - now Head of dental private practice, Italy

2014 - 2015 Research Fellow, Periodontology Department, University of Verona, Italy

2017 - now Board of Directors member, Italian Dental Association (ANDI) section of Cuneo, Italy

2019 - now European Regional Organisation of FDI (ERO-FDI) Working group member:

Relation between dental practitioners and Universities

2019 - now Fédération Dentaire Internationale (FDI) Working group member: Women Dentists Worldwide

*

*

■英国における女性歯科医師の役割と活動

英国歯科医師会 Dr. Roz McMullan

1979年に私が歯科医師資格を得た時、歯科医師登録者は20,636人で、そのうち16.8%が女性でした。私の勤労期間中に、英国の勤労性别人口統計に大きな変化が見られ、2020年には歯科登録者42,418人の50.2%が女性でした。この理由としては、高校での女性の高い業績や、柔軟な労働形態と好ましいワークライフバランスが得られる専門職であるといった説が唱えられてきました¹⁾。



英国の歯科界には、Lilian Lindsay 博士や Margaret Seward 卿といった、過去に多くの感銘を与えた女性の「リーダー」がいます。そのテーマを継続して、現



英国歯科医師会館（ロンドン）

在、英国には多くの有能な女性歯科医師がいます。

英国歯科医師会（BDA）の広域な委員会組織において、英国審議会、4つのうち3つの地方審議会の代表委員会、イングランド地域歯科医療委員会、若手歯科医師委員会、Scottish Hospital Dental Reference Group はすべて女性が議長を務めています。BDAの現会長および前会長は女性であり、地域歯科委員会の現在の議長も同様です。

代表的な活躍の場以外では、英国の4人の主任歯科技官のうち2人が女性であり、FDI世界歯科連盟の議長も英国の女性です。歯科医師資格を持つ多くの女性は、診療所の経営に成功し、病院や公衆衛生施設で歯科チームと医療チームを率い、学術・法制・損害保険・NHS（国民保健サービス）の組織で上席を担っています。

私たちは自己満足してはいけません。私は、1980年代の「Women in Dentistry（歯科界の女性）」の創設メンバーとして、女性が職場で悩む可能性がある、意識的および無意識の偏見にとっても注目しています。

英国では、歯科における平等・多様性・包摂（EDI）の重要な事項について、特に指導的役割を担う女性に焦点を当てた議論が行われています²⁾。

NHSの収支から、英国の女性歯科医師は診療所のオーナーにはなりにくく、なっても収入が少ないと推定しています³⁾。歯科界の女性がどんなキャリアと勤務形態を選択しているのかということも参考に、この理由を探るためにさらなる調査が必要です。

BDA理事会の現在の構成は、職業の性別人口統計を反映していません。BDAがEDIに焦点を合わせた継続的なガバナンスレビューの一環として、戦略的審議においてこの問題を真剣に受け止めていることを嬉しく思っています。

英国の女性歯科医師は自身の価値と努力によってリーダーの役割を果たしており、私たちは確実にそれらが注目され、称賛されるようにしなければなりません。女性が歯科専門職のリーダーとして成長するために、勇気づけられ、機会が与えられ、評価され続けることを確かなものとするのが重要です。

参考文献

- 1) British Dental Association Facebook live discussion. 2018.
- 2) Lala R, Thompson W : 'An equal world is an enabled world' : Equality in the dental profession. *BDJ In Pract*, 33 : 17 ~ 19, 2020.
- 3) Primary Care Workforce Team, NHS Digital : Dental Earnings and Expenses Estimates, 2017/2018. 2 September 2019, (<https://digital.nhs.uk/data-and-information/publications/statistical/dental-earnings-and-expenses-estimates/2017-18>), (accessed : 16 June 2020).

Dr. Roz McMullan

A retired Consultant Orthodontist, Dr. Roz McMullan is President of the British Dental Association (BDA) 2019/2020 and Chair of Probing Stress in Dentistry in Northern Ireland (NI).

A retired Consultant Orthodontist, while in post she was involved in Hospital governance, audit and was as appraiser and mentor to both dentists and doctors. She was secretary to the Audit Committee of the British Orthodontic Society and chaired the Hospital Training Committee of the NI Deanery

Dr. McMullan was involved in the representative side of the BDA from her student days and chaired NI Council 2015 until 2019. She was President of the NI Branch of the BDA in 1999.

In 2016, Dr. McMullan established "Probing Stress in Dentistry", which works to raise the awareness of mental well-being in the dental workforce in NI and to establish a network of mental health first aiders to support and signpost dental teams who are experiencing difficulty.

*

*

■ドイツの女性歯科医師

～ネットワークから専門職の政治団体まで～

ドイツ歯科医師会

Dr. Juliane von Hoyningen-
Huene M.Sc.



ドイツに女性歯科医師協会が設立されてから13年が経ちました。当初は「デンティストクラブ

(Dentista Club)」という名のネットワークでした。その当時、ドイツの歯科関係の政治家は頻繁に「歯科における女性進出の脅威」を話題にしていましたので、グループで集まり、歯科における女性の進出は全く脅威ではないことを示しました。女性の視点という違いだけはあるかも知れません。

当初から続く活動の一つに、女性のみを対象とした教育コースがあります。非常に男性中心の専門分野であるインプラント学といった領域は、女性歯科医師に

とって、身近な女性歯科医師と共に始めるほうが取り組みやすいです。ドイツの女性歯科医師協会会員にとってロールモデルである、ドイツ初の女性歯科医師 Henriette Hirschfeld-Tiburtius の名前の下、年次大会を開催しています。今年は新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のパンデミックのため、大会をオンラインで「燃え尽き (burn-out) と退屈 (bore-out) の間で」をテーマに開催します。

ドイツで非常に重要なもう一つのテーマとして、女性歯科医師は妊娠時に通常通り働くことはできないという特別法があります。これらのテーマをドイツの歯科医師に周知するために、私たちはドイツ歯科医師会 (BZÄK) と共に情報誌を発行しています。ケルン国際デンタルショー (IDS) では、様々なテーマを扱うドイツの多くの他の重要な歯科団体と共に、同じブースで、Cologne Women Dentists Germany をご覧いただけます。

創立からの年月を経て、当初よりもさらにシリアスな名称となり、BZÄK や他の団体と協力関係にある本会の会務と助言に、500人を超える正会員が信頼を



Dentista-Association Karlsruhe 総会 (2019年)

寄せています。何年もの間、本会は州の歯科協議会に立候補していませんでしたが、過去2年間でドイツの歯科行政にこれまでよりも深く関与するようになりました。国あるいは各地域の歯科医師会のなかでの役員数はまだ少なく、例えば、州の会長17人のうち女性は1人しかいません。このような状況を変えるため、政治に関心のある会員は州レベルの選挙により深く関与し始めていますが、まだまだです。しかし、すべての活発な組織がそうであるように、常に変化があり、ドイツ女性歯科医師協会は前進し続けています。

Dr. Juliane von Hoyningen-Huene M.Sc.

Dr. Juliane von Hoyningen-Huene M.Sc. graduated from the University of Leipzig in 2007 and served as president of the International Association of Dental Students (IADS) during that time. She holds a master degree in functional therapy from the University of Greifswald and is working as a dentist in Berlin. She is board member of the Berlin Dental Association since 9 years, in the Women Dentists Association of Germany/Dentista she is right now head of the committee for international affairs. Since the last FDI congress in 2019 she serves as the head of the FDI-section Women Dentists Worldwide.

*

*

■変化をもたらすことは (常に) 可能

トルコ歯科医師会 Professor Nermin Yamalik

トルコの歯科医学はすべての面において大きく向上しており、この専門家職の上昇トレンドとその成果に女性歯科医師は大いに貢献しています。女性歯科医師が増えるにつれ、私たちは女性歯科医師がいかに多方面に秀でていて、専門的な能力を発揮し、国内外で成功を取めているかに関して気付く機会を得ています。



研究・教育・診療において卓越した専門スキルと資格を有し、さらなる広範囲の専門的役割を担う女性歯

科医師は日々増えており、このことは診療・教育・行政レベルでの歯科専門職、そして個々の患者と一般の



FDI サンフランシスコ大会トルコ歯科医師会代表団

人々の口腔衛生の向上の両方においてプラスの影響を及ぼしています。施策などの意思決定を行うポジションに就く女性歯科医師の人数も増えており、歯科大学（例：学長，理事長）や職能団体（例：会長，役員）の双方で注目されています。FDI世界歯科連盟にてトルコ歯科医師会（TDA）を代表する代表団のうち3名が女性歯科医師であるという事実は，世界規模の活動で女性歯科医師が認知されている良い例です。

歯科医師として，私たち一人ひとは，教育・訓練・知識と技術の融合水準・専門的な経験と責任に基づき，口腔保健を向上させ，個々の患者と一般の人々の健康全般に寄与し，歯科医学の名声のさらなる向上に貢献することができます。したがって，すべての歯科医師には役割があり，女性歯科医師も例外ではありません。今日，私たちは歯科教育・歯科診療・歯学や

研究・管理等，歯科専門職の様々な分野にて女性歯科医師の多くの成功例とロールモデルを見ることが出来ます。近い将来，数の面でも，貢献度（効率）の面でも増え続けることは間違いありません。

FDI委員会委員，そしてFDI理事に初めてトルコから選出され，歯周学専任教授，トルコ歯科医師会国際渉外委員会委員として，私は，歯学・研究，歯科治療・歯周治療，歯科教育，歯科団体等，歯科の様々な分野に携わってきました。これらの活動を通じて，私は，“変化をもたらす”ことは容易ではない場合がありますが，いつでも可能であり，たった一人でも変化への大きな道のりをスタートできるということを示してきました。このことが，若手の歯科医師を鼓舞することにつながっていることを願って止みません。

Professor Nermin Yamalik

Professor Nermin Yamalik is a full-time professor in the Department of Periodontology, Dental Faculty, Hacettepe University, Ankara-Turkey. She is involved in undergraduate and postgraduate education in periodontology and oral biology. She has a M.S. degree in biochemistry. Her main research areas are pathogenesis of periodontal diseases and peri-implant inflammation, molecular mechanisms of connective tissue destruction, saliva, gingival crevicular fluid, laboratory-based diagnostic measures. She has served in World Dental Federation (FDI) as Member of Dental Practice Committee and Education Committee, and as FDI Councillor. She is a member of Foreign Affairs Commission of Turkish Dental Association (TDA).

* * *

■女性歯科医師：診療所内外での予防の主役！

フランス歯科医師会 Dr. Sophie Dartevelle

フランスでは，女性歯科医師の比率は46.60%であり，歯科専門職における女性比率の点で男性とほぼ同等の恩恵を受けています。さらに，歯学部の実習学生の60%が女性であるため，職業の女性比率の上昇がさらに進む傾向があります。



フランスの女性歯科医師は，歯科診療所で従来の歯科治療を行い，さらに歯科診療所の外でも活動する傾向があります。実際，彼女らの多くは従来の慣れ親しんだ場所や歯科診療所を飛び出し，予防推進活動を行っています。ほとんどの場合，高齢者，障がい者，子ども，または老人ホームや養護施設，さらには学校の恵まれない人々といった，社会的に弱い立場にある

個人を対象としています。通常，フランス口腔保健組合（UFSBD）の会長として私が熟知しているミッションでは，例えば，高齢者，その家族，介護者に対して口腔衛生の面で関与する形をとることができ，口腔保健の生活の質全般への影響を感じることによって口腔



1966年から学校はUFSBDの重要な予防分野。明るい笑顔で長い人生を送るために，できるだけ早い段階で適切な衛生ルールを学ぶ機会になっている

衛生の重要性に対するそれらの人々の意識向上を図ることができます。歯科医師としての従来の仕事をさらに多く行う上にこれらのミッションを付加して行うことで、女性歯科医師はフランスの公衆衛生戦略の基本的要素である予防の主役にもなっています。

フランスの歯科専門職は3つの専門組織（歯科機構、歯科医師連合、UFSBD）で構成されており、その中で女性は多くの代表を務め、積極的に役割を果たしています。歯科機構は、専門委員会に女性のポストを確保するために、地方と全国の選挙両方において男女の代表という観点から共同リストを提出する義務を課すこ

とで、数年間、男女の平等を促進する強力な措置を講じてきました。UFSBDでは、10人のメンバーのうち5人が女性であり、全国運営委員会の男女代表という平等が自然に達成されたことを誇りに思います。地方では、運営委員会の大多数が女性という傾向があります。

非常に多くのフランス人女性歯科医師が歯科診療所の内外で時間とエネルギーを注ぎ、フランス全国での口腔疾患のより良い予防のため、口腔保健を推進していることを、UFSBD会長、そしてWHO協力センターのディレクターとして（2012年より）、嬉しく思っています。

Dr. Sophie Dartevelle

President of the French Union for Oral Health -UFSBD
Vice Chair of Public Health Committee of FDI
Director of a WHO collaborating Center
She gained her D.D.S. and her DEA Tissus squelettiques et apatites from the University Louis Pasteur, Strasbourg.

*

*

■香港の女性歯科医師

香港歯科医師会 Dr. Tin Chun Wong

世界中の国々と同様に、香港でも、社会が求める高水準な歯科医師のトレーニングは時間とともに進化してきました。豊かさを育む平和な時代により、すべての人々が義務教育を受けられるようになりました。平等な機会を供する高等教育機関の発展により、若い男女は学業成績を除き差別なくキャリアを追求できるようになりました。女性歯科医師は社会に奉仕するだけでなく、若い女性が目指すことができるロールモデルとしての役割を果たしています。



香港大学の歯学部は1980年に創立し、修学後は学士（歯学）が授与されます。初年度に入学した歯科学生70名のうち、女子は20%でした。男子学生の割合が女子より多い傾向は、1999年に女子の受入数（60.8%）が男子（39.2%）を超えるまで続きました。興味深いことに、この傾向は続きませんでした。その後、女子の人数が男子よりも多かったのは、2003年（女子54.7%、男子45.2%）、2009年（女子55.4%、男子44.6%）、2013年（女子56%、男子44%）、そして

急増した2019年（女子64%、男子36%）です。つまり、歯科学士の受入数は男女の数に一貫性を示していません。重症急性呼吸器症候群（SARS）の流行後、女子が54.7%に上昇した2003年に見られるように、2020年のパンデミックが、女子による医療関連のキャリアの選択に変化をもたらすか否か、興味深いところでは。

2019年に香港で登録された歯科医師は2,441人でした。専門医を目指す歯科医師は、少なくとも6年の専門医認定訓練を受けた後、College of Dental Surgeons of the Hong Kong Academy of Medicineの認定が必要となります。2019年の登録では、合計



障がい者にボランティアで歯科治療を行う女性歯科医師

304人の専門医のうち、82人が女性でした。そのうち診療を行っているのは73人のみで、専門分野は矯正学(24)を選択したものが最も多く、続いて小児歯科(15)、歯周病(11)、歯内療法(7)、補綴(7)、口腔顎顔面外科(6)、地域歯科(2)、ファミリー歯科(1)となっています。政府の歯科サービスでは、357人中195人が女性歯科医師で、70人中24人が専門医です。子どもや地域の歯科医療において、女性歯科医師のボランティアが多くみられるのはよくあることです。

歯学部への入学はすべての学部の中でも最難関の一

つですので、非常に優秀な女性歯科医師が誕生し、男性の歯科医師と共に、香港の診療所、政府サービス、学会で最高かつ博識な歯科医師や専門家になっている人もいます。

謝 辞

Hong Kong Dental Association
Hong Kong Government Dental Services
College of Dental Surgeons of Hong Kong
Dental Council of Hong Kong

Dr. Tin Chun Wong 黃殿春

F.C.D.S.H.K. (Orthodontics), College of Dental Surgeons of Hong Kong
F.H.K.A.M. (Dental Surgery), Hong Kong Academy of Medicine
D.Orth.R.C.S. (England)
M.Sc.Orth. (Institute of Dental Surgery), Eastman Dental Hospital, University of London, 1980
L.D.S.R.C.S. (England)
B.D.S. (University College London)

She was President of the FDI World Dental Federation on 2013-2015 and now serves as Hong Kong's National Liaison Officer of the FDI. She is a Board Member of the Faculty of Dentistry, University of Hong Kong. She is a certified trainer of the Specialty Board in Orthodontics, College of Dental Surgeons, Hong Kong Academy of Medicine and teaches orthodontics at the Faculty of Dentistry.

●インフォメーション●

公益社団法人日本歯科医師会 令和2年度スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム (SCRP) 日本代表選抜大会

— 歯科学生によるグローバルな研究発表大会 —

新型コロナウイルス感染症の影響により、当初2020年8月21日(金)に歯科医師会館大会議室にて開催を予定していましたが本大会を、従来の大会開催形式から大幅に変更し、2次審査方式で行うことになりました。これに伴い、大会スケジュールを以下の通り変更いたします。

- 第1次審査用資料締切日：2020年8月26日(水)
- 第1次審査結果発表予定日：2020年9月15日(火)
- 第2次審査開催予定日：2020年10月4日(日)
- 第2次審査結果発表予定日：2020年10月5日(月)

詳細につきましては本会ホームページ (<https://www.jda.or.jp/dentist/scrp/>) をご参照ください。

お問い合わせ先

- ▶各大学教務課/学生課
- ▶(公社)日本歯科医師会事業部学術課・日本歯科医学会事務局 (TEL: 03-3262-9212)

